

アフリカ各国の防災担当行政官が津波工学研究室を訪問しました(2011/10/18)

10月18日(火)、国際協力機構(JICA)による「アフリカ-日本防災セミナー」のプログラムの一環で、アフリカ各国の防災担当行政に携わる局長・課長職15名が岩手県三陸沿岸部を中心とする被災地視察を行いました。同視察の工程の中で、三陸沿岸部に向かう事前レクチャーとして、東日本大震災の被害の全容や主な知見について当センターの津波工学研究室で講習会が開かれました。講習会の冒頭では、今村教授が挨拶を行い、その後、アナワット研究員から今回の大震災の津波発生メカニズム、被害の発生状況、現在までにわかっている主な知見・教訓、アフリカにおける津波ハザード予測、タイ洪水等について講演されました。参加者からは活発な質問があり、被災地視察を前に現場に関するイメージを明確にもてた、という感想をいただきました。



今村教授による挨拶



アナワット研究員による講演